

IoT（無線センサ）による「見える化」と「データ分析」で省エネを実現

株式会社村田製作所

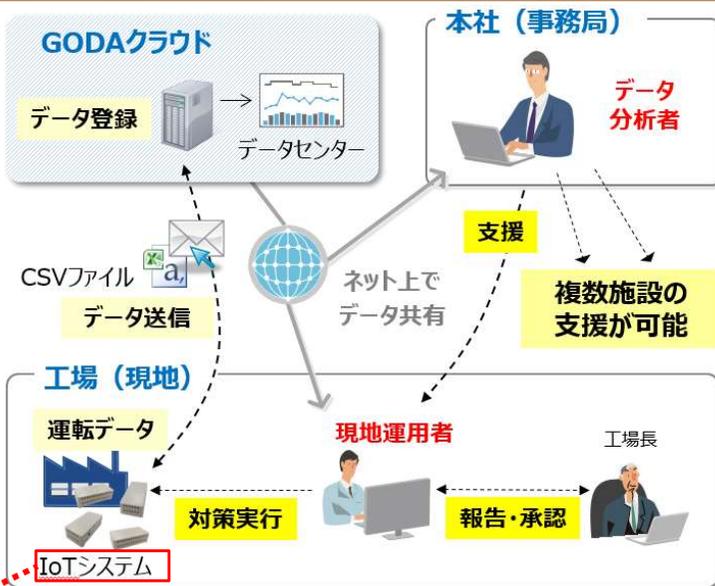
(工場) 2018年度産構審WG報告

- 生産工程の改善ニーズを、無線センサネットワークシステムでデジタルに見える化。短時間で多角的なデータ分析が可能なクラウドサーバー（※GODA®クラウド）を活用し、グループ本社の専門家も遠隔から現場担当者と連携して課題解決に取り組み、省エネを実現。

※GODA®クラウドは、高砂熱学工業（株）とパナソニック（株）が共同開発したクラウドサーバを用いたASPサービス

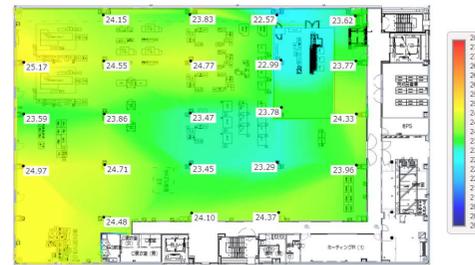
- 後付で簡単にシステム構築が出来る事から、見える化の範囲が拡大し、空調の最適運用や設備の待機電力削減などの省エネ効果に加え、生産性向上、予防保全にもつながっている。

導入システム概要



空調の最適運用

温湿度や清浄度をモニターしながら、細かなエリア毎に空調を制御することで、高品質かつ無駄のない省エネ運転を実現



当該事例の効果

空調の電力使用量
▲50%
(▲412MWh/年)

事業所全体における
省エネ効果
▲8.6%
(▲487Mwh/年)



日常管理（異常検知）
設備管理（寿命予知）
生産管理（合理化）
エネルギー管理（電力削減）